

サンゴジュの木の話

校庭の南側、百葉箱の裏手にあるこの木の名前は「サンゴジュ」（珊瑚樹）と言います。根元から一・五mほどのところから直角に折れ曲がっています。実は、この木、とても生命力の強い木なのです。

この木が植えられたのは、今からおおよそ一三七年も前の一八八二年（明治一五年）中屋敷の高台に「山田小学校」が新築、移転したとき、植えられたようです。

ところが、一九〇七年（明治四〇年）十一月三日、火事が発生し、この山田小学校は全焼してしまいました。もちろん、このサンゴジュの木も焼けてしまったのですが、奇跡的に生き延びてきました。



その後一九五一年（昭和二六年）今の場所に新しい校舎が建てられました。この時、山田小学校・篠窪小学校・赤田小学校が一つになり「相和小学校」となつたのです。サンゴジュも、奇跡の木としてここに移植されました。ただ、この時植えられた場所は、今の体育館あたりでした。

一九八二年（昭和五七年）、現在の鉄筋三階建ての相和小学校となり、サンゴジュも3度目の引っ越しとなり、現在の場所に植えられたのです。

火事にあつたという跡こそ見られませんが、幹の部分がごっそりなくなっているところが焼けてしまったところではないかと思ひます。

当時の学校が全焼するような大火事でも生き残つたというところで、「苦難を乗り越え、力強く生きることの大切さを教えてくれている」と言われています。

これからも大切にしていかななくてはならない木だと思つています。

（二〇一一年学校だよりで紹介）



さあ、夏休み直前となりました

いよいよ夏休みが目前に迫ってきました。今年は何なことをしようか、どこに行きたいなどと考えを巡らせている子どもも多いのではないかと思います。とは言うものの、梅雨寒でとても夏の気配が薄れているためか、今一つ、夏休みを感じていないような雰囲気全国的に漂っているように思ひます。

夏休みは、自由な時間がたっぷりあり、思いっきり好きなことに取り組める絶好の機会です。いろいろと考え、ぜひとも思い出多い夏休みなることを願っています。

放課後教室でも、その一翼を担えたらと考えています。

また、親と子のきずなを深めるためにもだいじな時間だと考えます。これまでもお伝えしてきましたが、この親子の関係が、人として生きていく上での安定感を生むことは間違いのないことです。働き方改革も大きく叫ばれている昨今でもありますので、子どもと過ごす時間をつくっていただきたいと思ひます。

さあ、私たちは、心の準備をしなくては・・・！？



集金について

（当日、忘れないようにお願いします）

*陶芸 …… 150円

夏休み中の放課後教室をキャンセルする場合は、「教室」に必ず連絡してください。（9:00までに）

